

**製品名: PRKAB2 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81913**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	30.3kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PRKAB2
別名	PRKAB2
遺伝子 ID	5565.0
SwissProt ID	O43741
免疫原	大腸菌で発現したヒト PRKAB2 (AA: 1-120) の精製された組み換え断片。

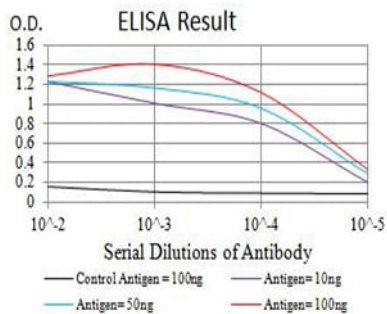
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の調節サブユニットです。AMPK は、 $\alpha$  触媒サブユニットと非触媒  $\beta$  サブユニットおよび  $\gamma$  サブユニットからなるヘテロ三量体です。AMPK は、細胞のエネルギー状態を監

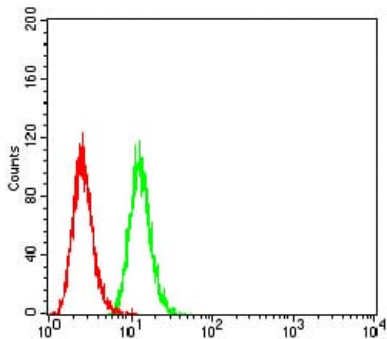
視する重要なエネルギー感知酵素です。細胞の代謝ストレスに反応して AMPK は活性化され、脂肪酸とコレステロールの de novo 合成の調節に与する重要な酵素であるアセチル CoA カルボキシラーゼ (ACC) と  $\beta$ -ヒドロキシ  $\beta$ -メチルグルタリル CoA 還元酵素 (HMGCR) をリン酸化・不活性化します。このサブユニットは AMPK 活性の正の調節因子である可能性があります。骨格筋で高発現していることから、組織特異的な役割を果たしている可能性があります。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。

## 研究分野

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



PRKAB2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。